

いのちの言の葉2009

富山県教育委員会平成21年度いのちのメッセージ発信事業

「いのちの大切さ」

富山市立萩浦小学校5学年児童
平成21年12月15日実施

【いのちの先生】

稲葉 博司先生

・北の森耳鼻咽喉科医院 院長

【授業の概要】

- 1 担任の話（導入及び「いのちの先生」の紹介）
- 2 いのちの先生の話
 - (1) いのちとはどんなもの、いのちは誰からもらったもの
 - (2) 誕生するまでの道のり
 - (3) ヒトのすごさ
 - (4) いのちの連鎖
 - (5) いのちの歴史の偉大さを感じよう
- 3 感想の記入



家族のみなさんへ

私は昔から受け継がれてきたいのちのバトンをこれからも続けていきたいと思えます。いのちのバトンを受け継がせてくれてありがとう。

限りあるいのち



お母さんへ

私は、昨日いのちの学習をして、20億年以上も前からいのちのバトンを受け継いできてもらったいのちだと初めて知りました。これからもいのちを大切にします。お母さん、産んでくれてありがとう。

いのちをもっと輝かせるために

人間は生きていだけで、いのちは輝いているけれど、もっと輝かせるためには、強い心と優しい心をもつことが大切だと思う。今まで育ててくれたお父さんとお母さんに感謝します。

お母さんへ

私はお母さんにもらった大切ないのちと、いのちのバトンを大切に、これからもずっとずっと先まで受け継いでいきたいです。いのちをくださってどうもありがとう。

お父さんへ

私のお父さんは、人生が終わるのが早かったけれど、お父さんは家族にも仕事にも愛を注いでいたので、いのちは輝き続けたと思います。